〈質問事項〉

川の土手の斜面にコンクリート板を張る工事がされていました(元々斜面には植樹されています)。

近年多発している大雨等でコンクリート板がダム化して、川の氾濫が起きる可能性はありますか?

また、通常は川の場合はアンカー工法を取り入れないのでしょうか? ご教授ください。

質問事項への回答

1 斜面にコンクリート板を張る工事

- ① 河川の場合は、川側に、護岸工事として、コンクリート板を張る工事をすることがあります。
- ② 主に、洪水時に以下を防ぐためのものです。
 - a) 川の流れが速くなると、土の斜面が浸食されることがあるので、それを防ぐ目的。
 - b) 川の水位が高くなると、堤防に浸透するのを、防ぐため。
- ③ 通常は、資料-1の、「■対策1コンクリート板」の位置に、設置します。
 - a) 堤外地(河川側)に、設置してあるでしょうか?

2 コンクリート板が、ダム化して、川の氾濫が起きるのでは?

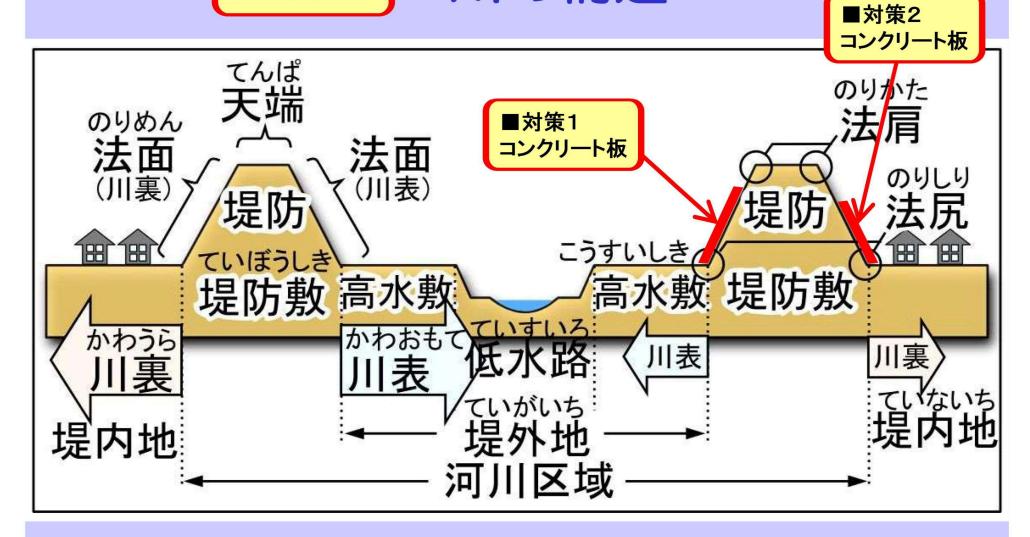
- ① 資料-1の、「■対策1コンクリート板」の位置であれば、ダム化することはありません。
- ② 資料-1の、「■対策2コンクリート板」の位置であれば、ダム化することも、考えられます。
 - a) この場所は、河川水位が、高くなったときに、水が浸透してくる場所です。
 - b) 通常、この場所を、対策する場合は、フトン籠のような、水を通しやすいものを、設置します。

3 河川構造物にアンカー工法は使える?

- ① アンカー工法を、使うとすれば、資料-1の、「■対策2コンクリート板」の位置です。
 - a) 河川水位が、高くなったときに、堤防斜面が、崩れる可能性があるからです。
- ② しかし、河川堤防内には、アンカーは使いません。
 - a) 資料-2を見て下さい。
 - b) アンカーエの鉄のワイヤーを入れると、そこが、水の通り道になって、危険だからです。

資料-1

川の構造



資料-2

河川構造物にアンカーは?

アンカーエ

